

帯広開発建設部

Web 広報誌

第22号

平成30年6月12日発行



「十勝川中流域かわまちづくり計画」

伝達式 4月18日



かわまちづくり

国土交通省では、まちと水辺が融合した良好な空間形成の円滑な推進を図るため、地方公共団体や地元住民が地域の魅力向上を目指して立案した計画を登録する「かわまちづくり支援制度」を推進しています。

3月26日に帯広開発建設部管内から「帯広市かわまちづくり計画」及び「十勝川中流域かわまちづくり計画」が登録されました。

登録証伝達式では、帯広開発建設部長から首長に登録証が渡されました。伝達式に引き続き行われた懇談の席では、各首長とも水辺の空間を活かしたまちづくりに意欲を示されていました。



↑↑

「かわまちづくり支援制度」の概要は、  
ロゴをクリック！



「帯広市かわまちづくり計画」伝達式3月27日

# 特 車 取 締

特殊車両とは、車両の構造が特殊な車両、あるいは特殊な貨物を輸送する車両で、幅、高さ、長さ、総重量、軸重のいずれかが、車両制限令で定める一般制限値を超えたり、橋、高架道路、トンネル等において各道路管理者が定める制限値を超えるものをいいます。道路は、どんな重さや大きさの車両でも自由に通れるわけではありません。道路法では、道路構造の保全と交通の危険防止のため、特殊車両の通行を原則禁止しており、通行するには道路管理者の許可が必要となります。

常広開発建設部では、許可無く道路を違法に利用している車両を排除し、適正な利用を促進するため、定期的に取り締りを行っています。

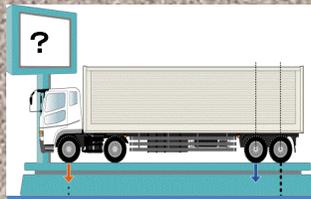


今年度第1回目の取締りを5月23日に上士幌車両旋回場で行いました。計測車両3台のうち2台で違反が確認されたため、当該車両の運転手に対し、指導を実施しています。

取締りではチェックポイントとして、  
こういうところを見えています！



高さ・延長の測定



重量の測定



許可証の確認

>> 特殊車両通行許可を申請する方はこちらをクリック <<

# 小林橋



# 架け替え



# 清見橋



# 完了

平成28年の台風10号で被災のため仮橋により通行を確保していた清水町の国道38号において、小林橋が5月29日、清見橋は5月30日に架け替え工事の完成を迎え、新橋への通行を開始しました。



## 日勝峠災害復旧事業が「土木学会技術賞」を受賞！

「国道274号日勝峠災害復旧及び道東自動車道の早期交通確保（平成28年8月北海道大雨災害）」が土木学会技術賞に選ばれました。日勝峠の復旧にあたった帯広開発建設部帯広道路事務所が、工事関係業者で組織された「日勝峠復旧工事連絡協議会」などとともに表彰されています。



清水町側8合目の被災直後の様子



復旧を迎えた清水町側8合目 平成29年11月

通行止め解除までの歩みは

こちらをクリック ⇒



## クリーンウォークとかち in 札内川に参加しています！

5月12日に、札内川愛国大橋河川敷において、ごみ拾いボランティア活動である「クリーンウォークとかち in 札内川」が行われました。「ゴミを拾うこと」だけでなく、「ゴミを捨てない意識を持つこと」「川の大切さを知ること」を目的に開催されており、今年で18回目を迎えました。

帯広開発建設部では、河川環境を守る観点から同活動を後援しており、治水課及び帯広河川事務所を始めとする職員約20名が参加しました。

当日は晴天に恵まれた春の河川敷を、地元企業やボーイスカウトなど約600名の参加者とともに、およそ1トンのごみを拾いました。



## 平成30年度十勝地域づくり連携会議開催

「地域づくり連携会議」は、国の「北海道総合開発計画」及び北海道の「北海道総合計画」を踏まえ、地域の多様な主体と意見交換を行い、地域づくりの方向を検討・共有し、連携・協働の取組を推進することを目的に、毎年度開催しています。

6月6日にとちかち館において、今年度の「十勝地域づくり連携会議」が開催され、十勝管内市町村長、帯広開発建設部長、十勝総合振興局長、有識者の出席のもと、今後の地域づくりに向けて、人材の育成や確保について意見が交わされました。



## 河道掘削土、農地へ 今年度の運搬始まる

～7月下旬までに5万8千m<sup>3</sup>を予定～

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。

一昨年の台風の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、十勝川の河道掘削土の提供を行い、昨年度までにおよそ58万m<sup>3</sup>の土砂を運搬しました。

今年度の支援として、土砂の運搬を5月28日に開始し、芽室町の農地への約5万8千m<sup>3</sup>の提供を行います。

なお、今回の河道掘削土の提供をもって、河川事業による被災農地の災害復旧支援が完了する予定です。



[>北海道緊急治水対策プロジェクトはこちら<](#)